水稲直播栽培特報（第1号）【カルパーコーティング】

令　和　３　年　４　月
なのはな農業協同組合
富山農林振興センター

目指せ!なのはな米1等比率95%以上!! ～「R3　JAなのはな米品質向上運動」実施中～

1．ほ場の準備

（1）耕起～代かき

・ほ場の均平が悪いと播種ムラや出芽ムラが発生し、生育不揃いの原因となります。
　耕起から砕土・整地の作業は、移植よりも丁寧に行いましょう。
・代かきは、少な目の水で稲株等をしっかりとすき込み、ねり過ぎに注意しましょう。

○代かき時期の目安

土質	代かきの目安
砂壌土	播種2～3日前
埴壌土	播種4～5日前

（2）基肥

・基肥は、チッソ成分で移植栽培の１割程度の減肥を目安に施用し、倒伏防止に努めましょう。

【コシヒカリの基肥の目安】

	LPss直播コシヒカリ		分施体系の場合
	施用量	チッソ成分	基肥チッソ成分
砂壌土	33kg/10a 程度	6.9 kg/10a	3.5 kg/10a
壌質土	30kg/10a 程度	6.3 kg/10a	3.0 kg/10a
粘質土～半湿田	25kg/10a 程度	5.3 kg/10a	2.5 kg/10a

注）大豆跡田では、倒伏の危険性が高いので、コシヒカリの直播は避けましょう。

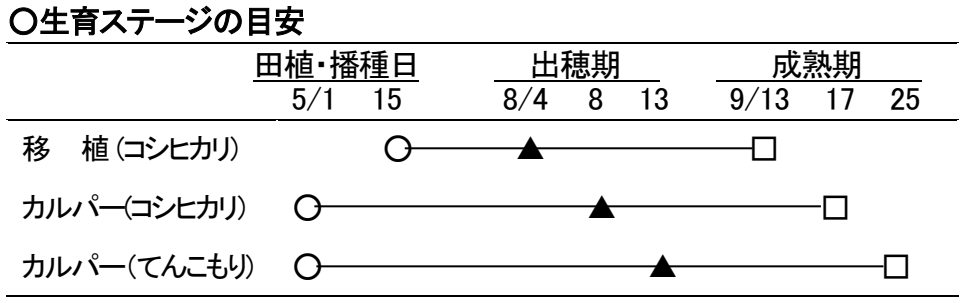
2．播種作業

・適期に適正な播種量で作業を行い、苗立ちを確保しましょう。

【播種の目安】

播種適期	4月25日～5月10日
播種量（乾籾）	2.5～3.0kg/10a
1m間播種粒数	28～33粒 （点播：原則60株/坪　設定）
目標苗立本数	40～80本/㎡（12～24 本/m）

○生育ステージの目安



・播種前の落水は、播種作業が午前中の場合は前日の夕方に、午後の場合は当日の早朝を目安とし、土壌条件に応じて行いましょう。
・作業中も確実に覆土（５～10㎜ の播種深度を確保）されていることを確認し、種子や肥料の落下量（各ホッパー内の種子や肥料が均等に減っているか等）もチェックしましょう。

3．播種後の水管理

・ほ場の透水性に応じ、土壌の表面に亀裂が入り渡るまで田干しを行いましょう。
　（**5～7日程度が目安**）
・強風が吹くなどの荒天時や、転作跡など透水性の大きいほ場では、乾かし過ぎにも注意しましょう（過剰な田干しは雀害や漏水による除草効果低減につながります！）。
・田干し後は、**浅水管理**を徹底し、初期分げつ確保に努めましょう。

深水管理は苗立ち不良の原因になります！

4．除草剤の散布

・除草剤は、使用時期の範囲内で遅れないように散布しましょう。
・田面の亀裂が大きい場合は、ほ場に入水したあと、減水が落ち着いてから散布しましょう。
・散布後５～７日間は湛水状態を保ち、７日間は止水管理としましょう。

【除草体系例】

播種 → ベルーガ1キロ粒剤（播種後5～7日 ※入水１日後～ノビエ 2.5 葉期まで） → ※雑草が多い場合 一発処理剤（エンペラー1キロ粒剤等）

雑草が多い場合は、2回目の除草剤を散布して雑草防除を徹底しましょう。

5．鳥害・初期害虫対策

○カ　モ　ほ場内に糸やテープ等を張り侵入を防ぎましょう。侵入した場合は落水し、被害を最小限に抑えてください。
○スズメ　播種後、種籾が露出して見える場合は一度入水し覆土しましょう。侵入した場合は速やかに入水してください。
○カラス　カラスの飛来が懸念されるほ場では、播種後、ほ場内や周辺に水糸を張り、飛来防止に努めましょう。
○初期害虫　発生初期にトレボン粒剤２～３kg/10a を散布してください。

春の農作業安全運動実施中（4月1日～5月31日）

※農耕車等で道路を走行後、泥落ちした場合は、泥の撤去をお願いいたします。

水稲直播栽培特報（第1号）【鉄コーティング】

令　和　３　年　４　月
なのはな農業協同組合
富山農林振興センター

目指せ!なのはな米1等比率95%以上!! ～「R3　JAなのはな米品質向上運動」実施中～

1. 種子・ほ場の準備

(1)種子

・コーティング後の種子は、発熱による発芽低下防止のため、すぐに苗箱等に薄く広げて十分に乾燥させた後に保管しましょう。また、播種前に必ず種子の発芽率を確認しましょう（発芽率の目安：９０％以上）。

(2)耕起～代かき

・ほ場の均平が悪いと播種ムラが発生しやすくなります。耕起から砕土・整地の作業は移植より丁寧に行いましょう。
・代かきは、少なめの水で稲株等をしっかりとすき込み、ねり過ぎに注意しましょう。

(3)基肥

・基肥は、チッソ成分で移植栽培より**1.0～1.5kg/10a**の減肥を目安に施用し、倒伏防止に努めましょう。

注）鉄コーティング直播は表面播種のため、倒伏に弱い傾向があります。倒伏防止のため、土壌条件や前作物を考慮して、施用量を調整しましょう。
（大豆跡田では、コシヒカリの直播は避けましょう。）

【コシヒカリの基肥の目安】

	LPss直播コシヒカリ	
	施用量	チッソ成分
砂壌土	30～33kg/10a 程度	6.3～6.9 kg/10a
壌質土	28～30kg/10a 程度	5.9～6.3 kg/10a
粘質土～半湿田	23～25kg/10a 程度	4.8～5.3 kg/10a

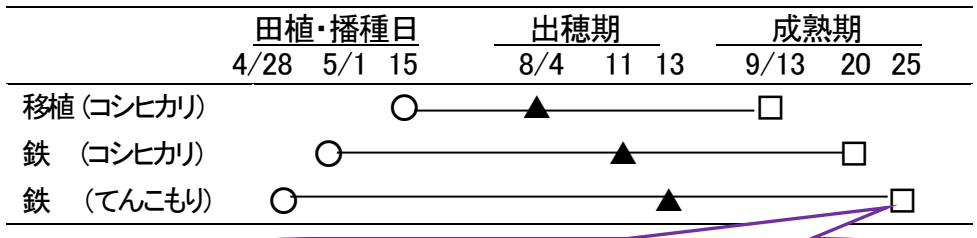
2. 播種作業

・適期に適正な播種量で作業を行い、苗立ちを確保しましょう。

【播種の目安】

播種適期	4月25日～5月10日
播種量(乾籾)	2.5～3.0kg/10a
1m間播種粒数	28～33粒 （点播:原則60株/坪　設定）
目標苗立本数	40～60本/㎡(12～18 本/m)

○生育ステージの目安



鉄コーティング直播は、**播種が遅くなると刈取時期が遅くなる**ので、注意しましょう。

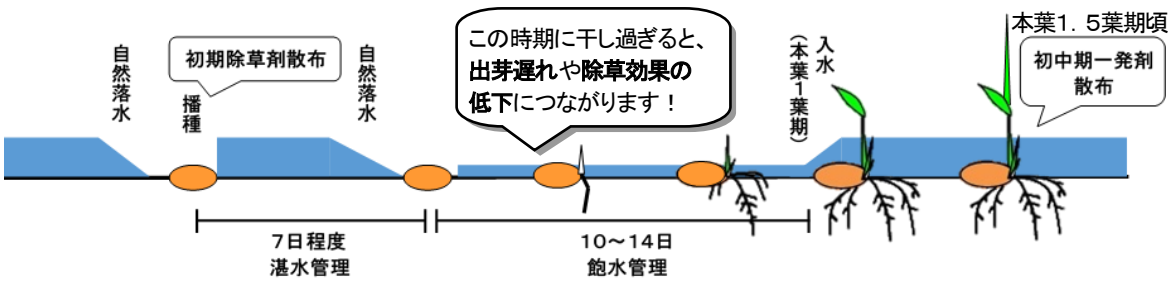
・代かき後自然落水した状態で播種しましょう。
・播種時の硬さは、**土壌がある程度締まった状態**（種子が田面に張り付き、施肥溝が埋まらない程度）としましょう。

○種子が見える
○施肥溝が残り、肥料の粒が見える

鉄コーティング種子播種時の土壌硬度の目安

3. 播種後の水管理

・除草剤の効果発現のため、播種後５～７日間は水深５cm 程度の**湛水管理**を行いましょう。
・その後は根を土中に貫入させるため、土に亀裂が入らない程度の**飽水管理**をしましょう（土壌の乾きすぎに注意）。
・播種後、高温で雨が少ない場合などに表層はく離(表土が膜状に浮き上がる現象)が発生したら田干し等で対応しましょう。



※スズメが飛来した時は、ただちに湛水して被害を防止しましょう。
※初期害虫の発生が懸念される場合は、出芽揃い後の入水時にトレボン粒剤　2～3kg/10a 散布しましょう。

4. 除草剤の散布

・鉄コーティング直播では出芽苗立ちまで時間がかかるので、**「初期剤＋一発処理剤」**の体系で除草しましょう。
・播種同時または播種直後に除草剤を散布するとともに、稲の１.５葉期頃に２回目の除草剤を散布して、雑草防除を徹底しましょう。

【除草体系例】

播種
（播種時～播種直後）
ベルーガ1キロ粒剤
→
（イネ 1.5 葉期～ノビエ 2.5 葉期まで）
一発処理剤
エンペラー1キロ粒剤等

春の農作業安全運動実施中（4月1日～5月31日）

※農耕車等で道路を走行後、泥落ちした場合は、泥の撤去をお願いいたします。